

中津川市観光振興ビジョン&観光推進アクションプランの改訂について（令和4年3月）

1. 改訂の経緯

2018年（平成30年）12月に中津川市の観光分野の施策展開を行う計画として策定した「中津川市観光振興ビジョン&中津川市観光推進アクションプラン」について、2019年～2027年（令和元年～令和9年）の計画期間のうち、アクションプランの前期3年間の経過したため、中期にあたる2022年～2024年（令和4年～令和6年）に向けて見直しを実施しました。

	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)	2027年 (令和9年)
中津川市観光振興 ビジョン	2019年～2027年 【9年間】								
中津川市観光推進 アクションプラン	前期 2019年～2021年		見直し	中期 2022年～2024年		見直し	後期 2025年～2027年		

2. アクションプラン前期の実績

アクションプランの前期2019年～2021年（令和元年～令和3年）では、3つの基本方針「1. 国内観光の推進」「2. インバウンド観光の推進」「3. 広域観光の推進」に基づき、観光産業の確立に向けた観光事業に取り組んだ結果、目標値に対する実績は下の表のとおりとなりました。2019年（平成31年、令和元年）はほぼ目標を達成することができましたが、2020年（令和2年）及び2021年（令和3年）は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標を大幅に下回りました。

本市全体の観光入込客数の実績

（単位：千人）

		2019年 (平成31年、令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)
観光入込客数	目標値	5,000	5,050	5,100
	実績	4,859	2,939	2,745

出典：岐阜県観光入込客統計調査 ※2021年（令和3年）は中津川市が調査した速報値のため変更の可能性あり

3. 改訂の考え方

中期に向けた見直しは以下の考えのもと実施しました。

- ▼2019年（令和元年）までは、観光ビジョン&アクションプランに基づいた事業展開により観光入込客数が増加しており成果を出していることから、施策の方向性は間違っていないと考えられる。
- ▼新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、全国的に観光業は深刻な影響を受けたものの、国の中長期的な視点である「観光による地方創生」は変わっておらず、目標値も据え置いている。
- ▼新型コロナウイルス感染症により観光のあり方が問い直されたものの、屋外観光の人気の高まりや感染対策の導入等これまでの観光の傾向の変化やバージョンアップに留まり、根本的な変革までは起こっておらず、本市の魅力である自然や歴史・文化、食等の地域の魅力を活かしたこれまでの取り組みは、今後も有効であると考えられる。



社会情勢の変化や新型コロナウイルス感染症、市内6観光協会を束ねる上部組織「中津川市観光局」の発足を踏まえた、本市の観光の進化を織り込んだ小規模なアップデートを行います。

4. 改訂の主なポイント

アクションプラン中期2022年～2024年（令和4年～令和6年）も引き続き3つの基本方針に基づいた事業に取り組めますが、前期の新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、これまでより一層官民一体となって本市の観光産業の確立に取り組むことが求められるため、行政及び観光協会の役割の見直し等を行いました。見直しの概要は以下のとおりです。

（1）中津川市観光振興ビジョン

（観光ビジョン本編全体）

- ▼SDGs及び持続可能な観光（サステナブルツーリズム）に関する視点の追加

（観光ビジョン本編P6～P10）

- ▼中津川市の現状である統計データの更新

（2）中津川市観光推進アクションプラン

（アクションプラン本編全体）

- ▼新型コロナウイルス感染症による影響の追加

- ▼サステナブルツーリズムに関する視点の追加

（アクションプラン本編P16）

- ▼アクションプラン中期3年間の目標値の設定

（アクションプラン本編P17、P18）

- ▼行政及び観光協会の役割の見直し

- ・行政及び観光協会の役割の明確化
- ・中津川市観光局による持続可能な観光地経営の取り組みに関わる観光協会の役割の追加
- ・観光産業における新たなニーズである「サステナブルツーリズム」「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」に関する役割の追加

（アクションプラン本編P19、P20）

- ▼基本方針1. 「国内観光の推進」の見直し

- ・中津川市観光局発足による、官民一体となった観光地域づくりの取り組みの強化
- ・神坂PAスマートIC及び濃飛横断自動車道ICの設置を好機とした誘客促進の取り組みの追加
- ・中山道沿線及び付知川流域の資源を中心とするサステナブルな観光資源を活かした取り組みの強化

（アクションプラン本編P21、P22）

- ▼基本方針2. 「インバウンド観光の推進」の見直し

- ・インバウンド観光における広域連携による観光プロモーションの追加
（尾張藩ゆかりの自治体による連携、杉原千畝ゆかりの自治体による連携）

（アクションプラン本編P23、P24）

- ▼基本方針3. 「広域観光の推進」の見直し

- ・新たに加入した広域協議会の追加
（尾張藩ゆかりの自治体による連携、杉原千畝ゆかりの自治体による連携）